

いきがい

公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見4-3-1

相模原市シルバー人材センター

検索

会員数（令和元年9月1日現在）
3,160名

ホームページ <https://sagamihara-sc.or.jp/>



目次

理事会だより	2頁
一般高齢者対象講演会	
草刈機械操作講習会・植木剪定講習会	3頁
毛筆筆耕講習会の開催	
いきがいの仲間たち 中央・南ブロック	4頁
緑ブロック	5頁
夏休み学習教室・キッズプログラミング教室開催	
安全管理委員会からのお知らせ	6頁
運転免許返納者に話を聞いてみました	
南ブロック日帰り旅行・中央ブロック日帰り旅行	7頁
めぐり会いの広場	8頁



草刈機械操作講習会

理事会だより 令和元年度 第3回理事会を開催

第3回理事会が8月30日(金)に開催され、議案では各専門部会の部会長から提示された令和2年度予算編成方針が承認されました。

総務部会では、受託事業等における今後の事務費のあり方や、会員数・受託件数・契約額・就業率等の今年度見込みを踏まえ、来年度の事業目標が確認されました。

事業部会では、来年度以降の配分金見積単価基準や、会員向け・一般高齢者対象の講習会の開催に関する事、当センターのHPにおける今後の計画等について確認がされました。

組織部会では、組織強化や、会員拡大への具体的な取組み等について確認がされました。

また、令和元年11月10日(日)に実施される「シルバー祭り」(緑区で試行的に先行実施)の、目的や内容等について確認がされました。

一般高齢者対象講演会を開催

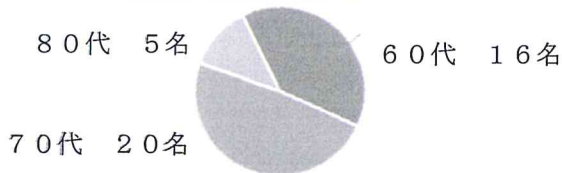
相模原市内在住の60歳以上の一般高齢者を対象に、当センターの紹介を通して、より多くの方に理解をしていただき、入会促進を図ることを目的として、6月20日(木)市民会館第1会議室において「明日から地域で使える超コミュニケーション能力」についての講演会を開催いたしました。講師は、元お笑い芸人(吉本興業)の方で、現在様々な研修講師としてご活躍されている西野義次氏。受講者は54名(男性16名、女性35名)でした。内容は、まずコミュニケーションを図る際の行動(表情、目線、声)と精神(判断、瞬発、受容、対応、協調性)に

ついての講演があり、自宅でも簡単に実践できるトレーニングとして、毎日顔や目の筋肉を動かしたり、発声練習を行うことによって、好感を得る表情と声をつくることができるといった紹介もありました。西野氏が経験した著名人とのやり取り等も交えながらの講演に、受講者は終始、関心を持って耳を傾けておりました。

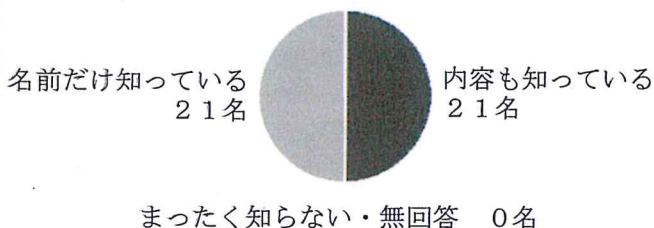


受講者アンケート集計結果 ※主な回答を抜粋

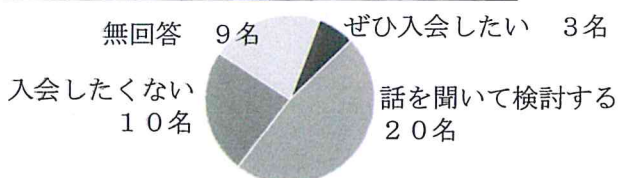
1 あなたの年齢を教えてください



2 あなたはシルバー人材センターを知っていますか



3 シルバー人材センター入会したいと思いますか



4 シルバー人材センターに対するイメージや要望等を自由にご記入下さい

- ・ 名称の変更を検討するべきでは。(働く側もシルバーという名称に抵抗がある)
- ・ 登録している方が生き生きと活動している好印象がある
- ・ もっと多様に仕事があると思った。自分には活動の場が無さそう
- ・ 年会費を納めても仕事があるかどうか心配
- ・ 高齢者が生き生きと働いている姿はともうらやましい
- ・ どのような仕事を紹介しているのか分からない
- ・ 社会参加の手助けとなる大事な役目を果たしていると思う
- ・ 経験を生かせることは良いことだと思う
- ・ 低料金だが、無理なく働ける
- ・ DVDで同好会を初めて知り、良いと思った



草刈機械操作講習会



草刈機械操作講習会に合わせたかのように関東甲信越に梅雨明け宣言がなされ、昨年と同じく猛暑日の中での開催となりました。

中央・南ブロックは7月30日(火)から淵野辺公園で、緑ブロックは8月1日(木)から津久井中央公民館及び功雲寺敷地内において、各会場2日間の日程で行われました。

講師は株式会社ニッカリの齋藤先生でクイズ形式による技能及び安全教育で正解者にはキーホルダーの景品を用意するなど楽しく記憶に残る講義内容となりました。

刈払い機は簡単に使えるようでも、農作業での事故の80%が刈払い機で、その60%が高齢者による事故とのことでした。

今回の講習会ではまったく初めてという会員もおられ最初はぎこちなかった操作も2日目にはスムーズな動きとなりました。

講習会最終日には実技評価がなされ、後日判定結果が郵送されるとあって皆さん真剣に受講されていました。

シルバー人材センターには、草刈り作業の受託件数も多く、多くの会員に就業の機会を提供しています。

汗だくになりながらの講習会は、安全就業に向けての意識と技能が大きく向上されたものと思います。

(山川)

植木剪定講習会

前期は、8月5日(月)～8月6日(火)に令和元年度第1回植木剪定講習会が淵野辺公園で開催され、参加者は20名でした。

講習会は、安全についての講習から始まり、植え込みの刈り込みを中心とした剪定実技を含め、2日間の日程で進められました。

講師の株式会社植藤の石川先生から講義の前に、「シルバーで働こうという意気込みに敬意を表します。凄いことだと思う」と述べられました。「シルバーとは言え、一度、仕事を受けたらプロであることを自覚してください」今、植木業界は人手不足で、若い人の成り手がいないので、皆さんの活躍が期待されているところです。との講義のあとに、午後からは実技講習に移行しました。

生垣の刈り込みで、「複数で作業をするときは、

隣の人にあわせ協調性を持って行い、上部は水平に刈るようにしてください。また、生垣は道路に面してるので歩行者に危害を加えないように十分に安全に留意してください。」と指導があるなど皆さんも暑さを忘れ受講されました。

後期(10月)は松の剪定です。より一層練習を重ねるようにと講評があり修了いたしました。

(山川)



毛筆筆耕講習会

8・9月に南・緑・中央の各ブロックにおいて、毛筆筆耕業務の就業を希望する会員を対象とした講習会が小山荘雪(あじさい大学書道講師)先生を迎えて、2日間(1日2時間)行われました。

各会場の定員は15名で、南会場(8月28・29日)は10名、緑会場(9月11・12日)は6名、中央会場(9月26・27日)は5名(予定)の受講者が参加されました。

1日目は、賞状の種類と書き方についての講義と宛名書き・賞状書きの基本的な文字の大きさ、起筆の角度、配置、全体の構成、筆使い、文字構成等の指導を受け、練習に励んでいました。2日目は提出用の宛名書きと賞状を書写することに熱中し、終了時間には、

皆さんの力作が出来上がっていました。

南ブロックにて受講された数名の方に参加動機を伺うと、小学生の時に経験した程度ですが、筆耕に興味があり、技術を学んでみたいという方、始めて参加された方、通信で書道を学んでいる方、実際に毛筆筆耕業務をされている方々が参加されていました。

(松本)



いきがいの仲間たち

セイコウ技研（株）で就業する宮代さんと宮崎さん 【中央ブロック】

田名塩田にあるセイコウ技研（株）を訪問しました。同社はOAの機器の分解と機器の中の貴金属を有効利用する会社です。

この会社で就業する宮代さんと宮崎さんにお話を伺いました。

就業は、月・水・金の週3回で、時間は、9：30～16：30までです。お二人とも5月から就業されています。

宮代さんは、インパクトドライバーでLEDの中を分解し、LEDチップを外した後、プラスチックレンズやアルミ・鉄などをそれぞれの場所に分けておく仕事です。宮崎さんは、エアガンでハードディスクの基盤を外す作業です。貴金属は基盤と残りの本体とに分ける仕事で、立ち仕事なので体に堪えるとのこと。

宮代さんは38年間車の修理や運行管理の仕事をしていたので立ち仕事は問題ないとのこと。

今年の夏は特に暑く大変だったそうですが、会社側

も配慮して、午前と午後に15分ずつ休憩を設けているそうです。休日は、宮代さんは、庭の手入れやメダカの餌やりなど、宮崎さんは、ショッピングやウォーキングを週3回体力維持のため運動をしているそうです。

取材へのご協力をありがとうございました。

(小林)



宮代さんと宮崎さん

「(株) 日本シンクマスター」で就業する丸山さん 【南ブロック】

「(株) 日本シンクマスター」は相模大野駅北口から西へ徒歩6分、県道51号線（行幸道路）と女子大通りの間に位置し、台所用、お風呂用の浄水器や水素水発生器の5商品を開発し、レンタルしている会社です。そこで就業する丸山満さんを取材しました。

同社は1985年4月に設立し、キャリアは既に30余年、1万2000世帯以上の顧客数を有し、用途別に5タイプの商品を用意し、レンタル方式によるネット販売をしています。商品の取り付け、取り外しはユーザー自身が簡単にできるようです。商品の本体とカートリッジ交換は2年毎に行い、月々のレンタル費用は下限価格に設定し、末永く喜んで愛用されるようアフターサービスにも万全を期して対応しているそうです。

就業は平成31年4月から、毎週月・火・金曜日の3日間、就業時間は午前9時から午後4時まで、実働6時間です。

就業内容は、全国規模で展開している浄水器の解体、洗浄、カートリッジ・ろ材の交換等と発送準備等が主作

業となります。

「現役の時はデスクワークでしたが、今は立ち仕事なので、最初は少し不安がありましたが、今では仕事にも慣れ、生活にリズムができ、身体も締まり、楽しく就業しています」と話されていました。

趣味や余暇の過ごし方を伺ったところ、「毎月、仲間と一緒に一杯飲みながら雑談し、時間を過ごすことです」とのこと。健康で就業されることを願っています。

ご協力いただき、ありがとうございました。

(松本)



相模湖明王峠の休憩所施設で就業する石川さんと飯森さん 【緑ブロック】

相模湖駅より北へ車で20号を5分ほど走り、林道を15分ぐらい走ったところで相模湖からの登山道と交差する。ここで車を降りて登山道を登る。約20分ほど息を弾ませながら登ったところに明王峠の休憩所があり、ちょっと下った場所に大2個、小1個のこじんまりとした休憩所手洗いがあります。

ここで就業する石川次郎さんに取材しました。石川さんは平成23年よりこの仕事に就いています。4月～10月までは毎月1回、11月～3月は隔月に1回で、1日～15日の間の都合の良い日に掃除をしています。

内容は大小のお手洗いの内側・外側、建屋の床や内壁など全体を拭きます。注意していることは、就業途上の車で曲がりくねった道の悪い道路を注意して走り、冬場のアイスバーンとなったところはゆっくりとスピードを落として走るとのことです。

この仕事は緑深い山の中を山登りなどするので「健康になるし、気持ちがいいし、いろいろな人に会えるので楽しい」と言っていました。

趣味は球技全般で、ソフトバレーや卓球などの大会に出場しているそうです。また、相模湖そば作り友の会の幹事を担っており、そばの花の鑑賞会を9月29日(日)に寸沢嵐で行うそうです。

石川さんお忙しいところをご協力いただきありがとうございました。(山口)



相模湖駅から明王峠へ



石川さん

夏休み学習教室

今年も、教員経験等のある会員が地域における子どもたちに教えることを含めた“育てる”ことを前提に、基礎学習を習得することを目的として、夏休みの小学生学習教室と中学生の数学教室が行われました。

参加人数は、次の通りでした。

- ★中学生数学教室(中央事務所) 延数2名
- ☆小学生学習教室(中央事務所) 延数10名
- ★中学生数学教室(緑事務所) 延数2名
- ☆小学生学習教室(緑事務所) 延数2名
- ☆小学生学習教室(南事務所) 延数2名

今回は人数が少なめでした。もう少し参加人数を増やしていきたいです。(小林)

キッズプログラミング教室開催



昨年、シルバー人材センターPC科の新規事業として立ち上げた小学生を対象としたプログラミ

ング教室も2年目を向かえました。

お父さんに引率されて来られた小学3年生を取材しました。教室では、すでに自分で作ったゲームを楽しみながらプログラミングを学んでいました。

同行されたお父さんに、プログラミング教室を受講された動機をお聞きしました。「これからの時代は、少子化で人手不足、さらに国際社会が進むことから英語で話したり、自分の考えを論理的に発言したり、急速な技術革新(思考力)といった時代が予想されます。この多様で複雑な時代を生き抜くために、いろいろな体験を通じて対応力を養いたいと思ったことがきっかけです。子供も興味をもってやっているなのでプログラミングを通じて解決方法

を考えるなど深い学びにつながることに期待しています。お陰様で、今年の3月に行われた相模原市小中学生第3回プログラミングコンテストで入賞しました」とのお話でした。

PC科の担当講師の方は、「子供たちが楽しみながら自然にプログラミングに接して思考力や課題解決力の向上の一助になれば」と話されていました。(山川)

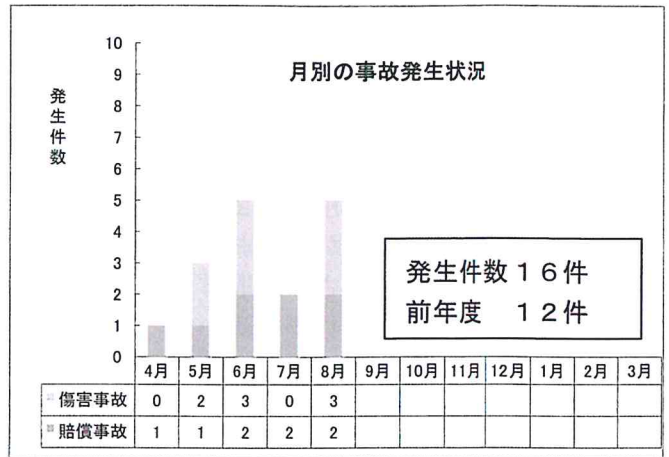


安全管理委員会からのお知らせ

【就業会員の事故発生状況】

4月から8月31日までの事故発生状況は、全体で16件(前年同月12件)、前年同月比で4件のオーバーとなりました。内訳では、傷害事故が8件(前年同月8件)、賠償事故が8件(前年同月4件)の結果でした。

特に、8月は、熱中症が2件発生していますが今後も注意を払って就業されるようお願いいたします。また、襖・障子張り作業による賠償事故が2件発生していますが、周囲の状況に十分気配りをして実施すれば防げた事故ではないかと思えます



【速報 ながら運転厳罰化(相模原安全運転管理者会より)】

道路交通法が一部改正され、今年12月4日までに施行されます。運転中の携帯電話使用などによる「ながら運転」厳罰化の概要は次のとおりです。

厳罰化① 交通の危険(交通事故など)を生じさせなかった場合の「ながら運転」の罰則

現在は、5万円以下の罰金 ⇒ 改正後は、6月以下の懲役または10万円以下の罰金。

厳罰化② 交通の危険(交通事故など)を生じさせた場合の「ながら運転」の罰則

現在は、3月以下の懲役または5万円以下の罰金

改正後は、1年以下の懲役または30万円以下の罰金

道路交通法一部改正で厳罰化される「ながら運転」(携帯電話使用等)とは

- ① 携帯電話などを手に持って通話した。
- ② 携帯電話などを手に持って画面を注視した。
- ③ カーナビやカーテレビなどの画面を注視した。(事故などの場合に限る)

運転免許返納者に話を聞いてみました

今年、東京・池袋で87歳の高齢者ドライバーの運転する車にはねられ3歳の女の子と母親が亡くなりました。

相模原市中央区でも、高齢者の交通事故が多発中で、9月1日付けで神奈川県交通安全対策協議会から「高齢者交通事故多発地域」に指定されました。

中央区は6年連続の指定となっており、高齢化率の上昇から、きわめて憂慮しなければならない状況です。相模原市内の各警察署では、運転に不安を感じる高齢者に免許証の自主返納を促すことに力を入れています。

高齢者の運転免許自主返納制度は、98年4月の道路交通法改正で導入されている制度ですが、まだまだ自主返納は進んでいないのが現状だそうです。

その為、当センター会員のAさん(73歳)から免許を返納されたその後について聞いてみました。

『自分ではまだまだ大丈夫と思っていましたが、自宅の壁に車を接触させたことと、奥さんに懇願されて、免許証を返納したとのこと。返納後は、徒歩で買い物をしたりシルバーに來たりしています。歩く時は1万歩を超える歩数で健康に良いと思っています』

ます。車の維持費もかからずにこれだけ車にお金がかかっていたのかと実感しています。近くに買い物をする店もありますので不便は感じておりませんが、重い荷物があつた時は、多少の不便を感じる程度です」とのお話でした。

また、「高齢者による悲惨なニュースをみるたびに、免許を返納して良かったと思います。未来永劫、運転はできないので、少しでも早く運転を卒業したと思っています。皆さんにも、ヒヤリハットを経験したら早めに自主返納されることをお勧めします」とも話されていました。

勇気ある決断だっただろうと思います。皆さんも、ぜひ、運転免許返納について考えてみてはいかがでしょうか。

重大事故が起こる前に！ (山川)



各ブロック日帰り旅行の開催

南ブロック 会員交歓会日帰り旅行記

前日までの雨天予報。7月1日月曜日の早朝、晴れ女・晴れ男の集団は、当然雨は降らないと確信して出発しました。

参加会員44人の日頃の心掛けを乗せて中央ハイウェイを快走、一路甲斐の国へ。

車中では早速、酒盛り大会・のど自慢大会が開催される中、笹子トンネルを抜けると雲は高く、甲府盆地を抜け、最初の訪問先の天然記念物・昇仙峡へ。ウィークデーの観光地よろしく貸し切り状態。数回訪問の経験者からも「薄曇り中の奇岩群に初めて見る景色」との声もあるほど、初夏の深緑の中、別世界の岩山・巨石群がそこにありました。

梅雨を集めて轟音とともに下す仙娥滝、今にも落ちそうな石門を潜り、アップダウンが続く遊歩道を散策すると、おなかもぺこぺこに。早速、甲州名物が待つ食事処へ直行。

モツ煮発祥・そば処で有名な名物店でお昼を存分に堪能、若き女性に見送られて、青木ヶ原をぬけて次の訪問地 忍野八海へ。

到着すると、そこは聞き慣れぬ言葉が飛び交う外国かと思ふ観光地。昇仙峡とは打って変わって人・人・人。そんな中でも一際静かな榛の木林資料館を訪れ

て、忍野村最古の茅葺の屋敷と底抜池を優雅に散策。併せておみやげも調達。

帰路は、中央道最大のサービスエリア談合坂で一息をして、帰りを待つ家族へのお土産を手にとり揚揚と帰路につきました。帰路も小仏（別名・おとぼけ）トンネルの渋滞もなく、和気あいあいの車中カラオケ大会の中、順調に麻溝に到着。その後も遅れもなく降車地へ向かうことができ、とても楽しい甲州路の旅になりました。

今回も旅行を援助して頂きましたシルバー人材センターの皆様には厚くお礼を申し上げます。

(日帰り旅行幹事一同)



中央ブロック 会員交歓会日帰り旅行記

9月10日(日)天候に恵まれ、全員元気で楽しい思い出の1ページを作ってきました。

参加者は38名で女性は6名と少し寂しかったのですが、冷房が効き快適な車中は、シルバーセンターからの差し入れを頂きながら、久しぶりの再会で話も弾みました。

しかし、出発前の8日には台風15号の影響で千葉県に甚大な被害をもたらし、相模原市も「警戒レベル3」が発令されるなど、旅行が危惧される気候でしたが旅行前日には警戒も解除されました。

旅行当日には台風の心配もない日となりましたが、気温が高く熱中症に注意が必要でした。

コースは圏央道から東名高速道路経由にて御殿場ICで降り、最初は「秩父宮記念公園」の見学です。園内には殿下の防空壕等もあり、戦中の悲惨な情景を思い起されました。

その後は三島でメロン狩り(1玉お土産付き)・昼食(メロン16分の1の試食付き)・伊豆めんたいパーク・旭滝の見物、最後は沼津干物店でお土産買い

を行い帰路につきました。

道路は行きも帰りも渋滞に遭わずスムーズで予定通り17時頃に帰着しました。伊豆めんたいパークでは他の団体のメンバーが救急搬送されるなど熱中症が心配される日でしたが、相模原シルバーの会員は誰一人暑さに負けずお土産を沢山下げ、再会を期しそれぞれ帰路につきました。

(日帰り旅行幹事)



～「しめ飾り」の販売について～

お正月用しめ飾り販売の予約受付を実施します。引きとりはセンター各事務所・連絡所で行います。

引取日：12月25日(水)・26日(木)

9時～15時、代金は商品と引き換えです。お申し込みは、11月29日(金)までに電話でセンター各事務所・連絡所へ。どなたでも購入できます。



高さ約 70 cm
大 2,000 円



高さ約 40cm
小 1,500 円



高さ約 20 cm
*お飾りなど若干異なる場合があります。
リース
1,000 円

テレビ番組で放映されました！

2019年7月16日(火)に、TBSの番組【Nスタ】にて、当センターが紹介されました。主には、リサイクル自転車について放映され、リサイクル自転車の修理・調整に携わる会員のプロフェッショナルな技術や、購入する方々の喜び姿が放映されました。視聴者に対し、当センターの会員が生きがいを持ち、社会に貢献する姿や、利用するお客様が喜び姿を見てやりがいを実感する等といった、充実した場面が放映されたことで、大きなPRができました。

人事異動

退職 令和元年9月30日付
中央事務所 固有職員 座間 陽一郎

採用 令和元年8月1日付
事務局 嘱託職員主任 村上 陽次



各事務所連絡先

- <事務局・中央事務所> ☎042(754)1177
- <南事務所> ☎042(745)2158
- <緑事務所> ☎042(783)1313
- <津久井連絡所> ☎042(780)1872
- <相模湖連絡所> ☎042(684)3126
- <藤野連絡所> ☎042(686)6505

読者投稿作品

川柳

息抜きの
趣味にも暇と
金が要り

田名 島山義喜

読者投稿作品募集

短歌・俳句等の読者投稿作品を募集します。ご応募やお問い合わせは、事務局までお願いいたします。

編集後記

先に、「老後の資金がありません」という垣谷美雨の小説を読んだ。しっかり蓄えた老後資金がみえるみる激減し、夫婦共々、失職や金難に振り回されるストーリーである。

また、先般、定年後から95歳まで生きるには夫婦で2千万円の蓄えが必要との金融庁報告書が物議を醸した。平均的年金に月5万円が不足するという試算だ。

シルバー人材センターの今年の定時総会資料を見ると、1人当たりの年間配分金収入が、月額に換算すると3万円程度が配分金の中央値のようだ。

僅かな配分金かも知れない。されど貴重な配分金である。家計の赤字を補填するには充分ではないかも知れない。しかし体の動くうちはセンターで紹介された仕事で就業し、健康の維持、生きがい、そして仲間づくりで日々を楽しもうではありませんか！

(山川)